



主催：NPO法人築地居留地研究会
後援：東京都中央区

2021年12月度定例研究報告会

日時：2021年12月4日（土）14：00～16：00

会場：カトリック築地教会2階 中央区明石町5-26

講演テーマ：「居留地があった街をたどる」

大川の河口、新川地区から湊・明石町地区（本湊町・船松町）と佃島との間の水面が、千石船（大型航洋船）の停泊場所だった。江戸時代の地図には必ず「諸国集船の湊」と書き込まれた場所である。そして明治元年に貿易拠点として築地居留地が誕生。文明開化の曙は明石町の海から明けた。



講師：菅原健二（すがわら けんじ）

東京都市史研究家、司書

令和2年3月まで京橋図書館地域資料室勤務

著書等：『中央区沿革図集（京橋篇・日本橋篇・月島篇）』の企画・編集、『jr.中央区文化・歴史ずかん』の執筆・編集。『郷土史だより』の執筆などを担当

著書『川の地図辞典 江戸・東京23区篇』

『川路からたどる江戸・東京案内』など

聴講：無料 一般公開（先着50名）予約不要 どなたでも聴講できます。

コロナ自主対策：検温、マスク着用、手消毒、ソーシャルディスタンス等

お問い合わせ先：03-3551-7595

<https://tsukiji-kyoryuchi.com>

カトリック築地教会へのアクセス

中央区明石町5-26



地下鉄にてご来場の場合

- ・ 新富町（地下鉄有楽町線）駅6番出口から徒歩5分
- ・ 築地（地下鉄日比谷線）駅3番出口から徒歩6分